

金日成主席と祖国統一偉業

ルーマニア勤労者協会書記長、記者
チプリアン・ポプ

アメリカのヘリス・トルーマン大統領（1945－1953）の回想録でも触れているように、朝鮮半島が38度線を境界に分断されたのはアメリカの画策によることであります。

フランクリン・ディ・ルーズヴェルトの後任は自分の生涯にたいする逸話と関連した著書で、南朝鮮を占領するための米国政府の戦略を批評しました。8月15日アメリカは南朝鮮人民の意思とは裏腹に、南朝鮮に強制に人為的な国家を作り出すことにより、アメリカは国土分断の基本目的を達成しました。アメリカが唱える「南侵」を防ぐためのたたかいかでもっとも重要な問題は、傀儡軍をつくることであります。わずか3年の間に帝国主義によって躰けられ武装された兵力数が15万に達しました。今日になってその兵力数は100万以上に達しています。

朝鮮が分裂され、南朝鮮に米軍兵力が引き続き駐屯しているのはルーズヴェルトからホワイトハウスの現在の主人であるジョウ・バイドンにいたるまで歴代のアメリカ大統領が提唱する覇権主義的政策によることであります。

朝鮮半島に実際の緊張緩和の雰囲気をつくるためには、双方間に信頼を構築し、朝鮮民主主義人民共和国とアメリカ間に不可侵合意書に署名し、アメリカがいまだに南半部に保有している4万以上の米軍と1,000余基の大量虐殺兵器を無条件に撤去するなど、戦争兵力と装備を縮減しなければなりません。

1970年代に軍事境界線の以南地域で南朝鮮軍は米軍工兵の計画にしたがって朝鮮半島を二分して東西に長さ240kmの恥ずべきコンクリート障壁を構築し始めました。これは1953年7月27日、事実上戦争の勝利と言える板門店での停戦協定の調印の後、アメリカが分裂を永久化し、国連のいわゆる「二つの朝鮮」にたいする認定を受けるための条件をつくるための作戦の一つでありました。

大きさや投資において膨大な建設でありました。セメントは少なくとも80万トン、骨材350万m³、鋼材と木材は20万余トンも投入してコンクリート障壁を完成しました。障壁の平均高さは5－8mであり、下部の幅が10－19m、上部の幅は3－7mであります。各所に機械化部隊、歩兵武力が出入りする自動鉄

扉があります。

南朝鮮の当局者は対決的なこの障壁の存在について否定してはいませんが、全朝鮮人民の要求通りにコンクリート障壁を打ち壊すことに同意しないです。

金日成主席は北と南の同胞が自由に往来し、緊張を緩和するための実際の条件をつくるためには、コンクリート障壁を打ち壊し、北と南の首脳、政党、社会および宗教団体の間に協商会議を開こうと積極的に提案しました。

金日成主席はコンクリート障壁を打ち壊せば労働者、農民、青年学生と政治家、経済人、文化人、宗教人が制限なく自由に往来できるだろうと述べました。

しかし、アメリカが南朝鮮をはじめ、アジア、太平洋地域で覇権を掌握しようという自分らの戦略的立場を放棄しようとしないうえ、恥ずべきコンクリート障壁は依然として民族の団結に無関心な者によって残っているのです。

金日成主席は朝鮮民主主義人民共和国を統一運動の強固な砦として強化しながら北と南、海外のすべての朝鮮人を一致団結させるために努力の限りを尽くすことにより、祖国統一運動は全民族的闘争として拡大されるようになりました。

「わが民族同士」の原則を基本理念とする「6.15 共同宣言」にはいかなる外部勢力の干渉を受けることなく朝鮮人の力で祖国を統一しなければならないと指摘されています。

共同宣言が採択された後、立派な成果が多く収められました。

北と南、海外のすべての朝鮮人が「6.15 共同宣言」の見地から協力を強化し、和解と団結を実現するために力強く闘いました。

そして赤十字社と北南軍事問題専門家たちは祖国統一の念願と民族共通の利益を優先させて各分野における協力と交流を実現するための共同合意文を採択しました。

その後、半世紀以上も別れていた家族が対面しました。多くの南朝鮮の同胞が独特な芸術作品である「アリラン」を観覧し、白頭山、妙香山はもとより、平壤をはじめとした名勝地を見物しました。

訪問期間「わが民族同士」は祖国統一のための大命題となりました。

朝鮮民主主義人民共和国は、国際社会に「力の使用を排除して平和的環境」をつくり、「不合理な国際経済構造を正そう」とアピールしました。これは共和国政府が依然として祖国統一の念願を実現し、平和原則を固守するという自己の約束を守っているという明白な証拠となります。

全世界にいる朝鮮の友人であるわれわれは帝国主義者と植民地主義者の「二

つの朝鮮」策動に反対し、自主的平和統一を実現するための朝鮮人民の闘争を積極的に鼓舞・激励しています。

ルーマニア勤労者協会を代表してわたしは、改めて金日成主席が打ち出した祖国統一3大原則と祖国統一5大方針にもとづいて民族の悲願である国の自主的平和統一をなし遂げるためにたたかう朝鮮人民に積極的な支持を送ります。

また、われわれは朝鮮統一の基本障害であるいわゆる国連の看板の下に南朝鮮に駐屯したすべての外国軍隊を一日も早く撤退させるべきであるということについて支持し、「二つの朝鮮」をでっち上げ、国を永遠に二分しようとする帝国主義者と南朝鮮の傀儡政府のあらゆる策動を断固糾弾します。